

ケース学習をします。グループで検討しながら、「統合」まで進めてみましょう。

全体の流れは・・・

- ①「Case Taking」--->②「特徴的な症状を捉える」--->③「前分析」--->
④「本分析」--->⑤「統合（病の中心）」--->⑥Rep.--->⑦レメディの決定
・・・ということになります。

「統合」は、そのCASEを統合した数個程度の過剰書きにして、ケースにおける「病の中心」を表現してみましょう。

これまでしてきたようにCASE学習の取り組み方の順序は、以下の通りです。

1. まず、CASEを一読して、CASEから受ける①印象を書き留める。
2. 再読して、クライアントの特徴的な点（症状）をピックアップする。
3. ピックアップした特徴的な点の全体を眺める。
4. これらを元に、「前分析」を試みる。（正確に分からなくても良いです）
②健康度（0～10）
③予後（良いレメディがある時／ない時）は、どうなるか？
④救急性（急性か慢性か～救急性があれば、まずはそこから始める）
⑤治癒を妨げているものの有無は？ ⑥親和性（部位）
⑦マヤズム傾向（Psora Sycosis Syphilis Cancer TB等）
⑧全体性（CASEでの乱れはどこにあり、レメディはいくつ必要になるか？）
⑨バイタリティー
5. 本分析＝「何が癒されるべきか？」をとらえて
「統合（いくつかの箇条書き）」にまとめます。
6. 「統合（何が癒されるべきか？）」から外れない症状をRubricsとして選び、
レポートライズ（Rep.）する。
7. Rep.表の候補レメディから、ベストレメディを選ぶ。
8. 最終的には、ポテンシーとドーズを決めて、クライアントに提案する。

さて、CASE学習では、この教室を出たら、決して、その内容について話すことなく、
守秘義務を守って下さい。では、始めましょう。